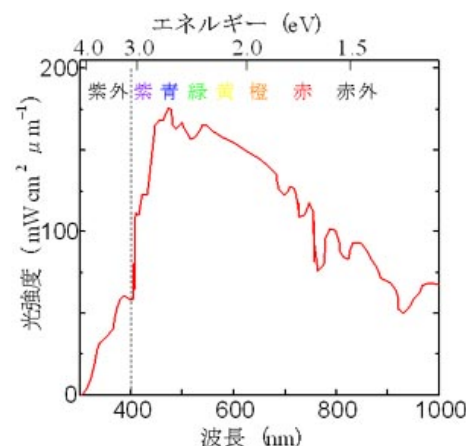
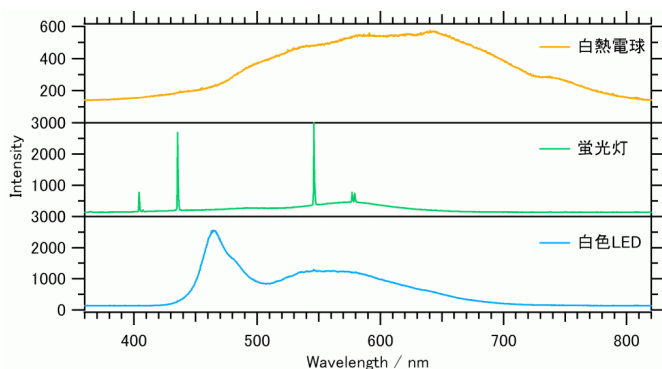


	kJ/mol
C≡N	854
C≡C	835
C=O	740
C=C	621
C—H	410
C—O	370
C—C	350
C—Cl	330
C—N	300
C—Br	275
C—S	255
C—I	220

光の波長と光子の持つエネルギーの関係

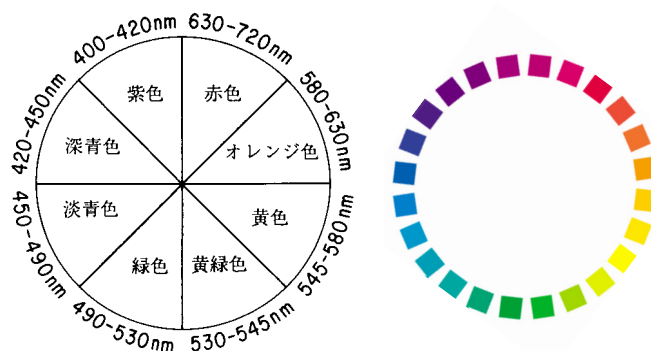
光子のエネルギー = 光の速さ ×  $h$  ÷ 光の波長  
(  $E = ch/\lambda$  )

光の速さ( $c$ ):  $3 \times 10^8$  m/s;  $h$ : プランク定数( $6.6 \times 10^{-34}$  Js)



補色 吸収した光の色と透過した光の色

普段我々が観察している溶液の色は、溶液が吸収した色の補色になる。溶液の観測される色（波長）と溶液に吸収される色（波長）とを簡便に推測するのに便利なのが色ロゼットである。色を円盤上に配列し、一つの色の光が吸収されるとき、ロゼット上の吸収された光の対角が観測されるように配列してある。例えば、ある溶液が赤色の光（630 ~ 720 nm）の光を吸収したとき、溶液は緑色に見える。ただし、吸収は通常複数の色にまたがる波長領域を持っていること、また、人間の目はすべての波長の光に対して同じ感度を持っていないことの2つの理由により話はやや複雑である。例えば、緑～黄の波長領域に対しては青～赤に比べて5～10倍感度が高いため、紫色は相対的に見えにくくなっている。



例えば、緑～黄の波長領域に対しては青～赤に比べて5～10倍感度が高いため、紫色は相対的に見えにくくなっている。